

平成17年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成17年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成17年11月29日(火)～30日(水)に博多シティホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者36名、委託関係者19名ほか、計61名の参加を得て、除草剤6薬剤(57点)、

生育調節剤8薬剤(65点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成17年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	内 容
1. AH-01液 (S)-2-[ヒドロキシ(メチル) ホスフィニル]ブタン酸ナトリウ ム塩 10.5% [明治製菓]	大粒カンキツ	薬害 新規	静岡柑試伊豆 (1)	[薬害試験] ・春期→初夏→夏期 2000mL→2000mL→2000mL <100> 土壌処理 ・夏期 5000mL<100> 土壌処理 ・春期または夏期 100倍 枝葉処理	実 ・ 継	実) [カンキツ:雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象; 300～500mL/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a>. ・茎葉処理. (継) ・薬害について.
	ビワ	適用性 継続	千葉暖地園研 香川農試府中 長崎果試 (3)	[一年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・茎葉処理 対)ハース液 300mL<100>	実	実) [ビワ:雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象; 300～500mL/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a>. ・茎葉処理.
	ビワ	適用性 継続	千葉暖地園研 香川農試府中 長崎果試 (3)	[多年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<100, 150> 750mL<100> ・茎葉処理 対)ハース液 500mL<100>		
	ビワ	薬害 継続	千葉暖地園研 香川農試府中 (2)	[薬害試験] ・春期→初夏→夏期 2000mL→2000mL→2000mL <100> 土壌処理 ・夏期 5000mL<100> 土壌処理 ・春期または夏期 133倍 枝葉処理または樹幹処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	内 容
2. MON-96A液 グリホサートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継続	果樹研カンキツ(口之 津) 熊本農研天草 鹿児島果試 (3)	[マルバ'ツツサ] ・①夏期 雑草生育期(草丈30cm 以下) ・②秋期 雑草生育期(草丈30cm 以下) ・500, 1000mL<50> ・茎葉処理 対)バ'スタ液 500mL<100>	実 ・ 継	[カンキツ:マルバ'ツツサ] ・雑草生育期 ・2000mL/10a<50L/10a> 1回または2回処理。 (但し、草丈30cm以下では 500~1000mL/10a<50L/10a>) ・茎葉処理。 継) ・マルバ'ツツサに対する低薬量での効 果の年次変動の確認。 上記以外は従来通り
3. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継続	三重農研紀南 大阪食とみどり 広島果樹柑橘研 香川農試府中 宮崎総農試<夏> (5)	[一年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・200mL<25, 50, 100> 500mL<25, 100> ・茎葉処理 対)ラウンド'アップ'液 250mL<25>	実 ・ 継	[カンキツ:雑草全般] ・春~夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・一年生雑草対象: 200~500mL/10a、 多年生雑草対象: 500~1000mL/10a、 <25~50L/10a(専用ノズル使 用)、50~100L/10a>。 ・茎葉処理。 継) ・春処理での効果の確認。 ・スギナに対する効果の確認。 ・マルバ'ツツサに対する効果の確認。 ・薬害試験の継続。
	カンキツ	適用性 継続	和歌山果試 広島果樹柑橘研 香川農試府中 宮崎総農試<夏> (4)	[多年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<25, 50, 100> 1000mL<25, 100> ・茎葉処理 対)ラウンド'アップ'液 500mL<25>		
	カンキツ	適用性 新規	大阪食とみどり 山口大島柑試 徳島果樹研 (3)	[スギナ] ・スギナ生育期(草丈20~25cm) ・1500mL<50, 100> 2000mL<50> ・茎葉処理 対)ラウンド'アップ'液 2000mL<50>		
	カンキツ	適用性 新規	熊本農研天草 <宮崎総農試亜熱帯 > 鹿児島果試 (3)	[マルバ'ツツサ] ・夏期(草丈30cm以下) 500, 1000mL<50> ・茎葉処理 ・秋期(草丈60cm以上) 1000, 1500mL<50> ・茎葉処理 対)バ'スタ液 500mL<100>		
	カンキツ	薬害 新規	広島果樹柑橘研 徳島果樹研 (2)	[薬害試験] ・春期→夏期 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 ・春期または夏期 10000mL<50> 土壌処理 ・春期または夏期 25倍 枝葉処理		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	内 容
NC-622液	ビワ	薬害 新規	千葉暖地園研 香川農試府中 (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 ・ 春期または夏期 10000mL<50> 土壌処理 ・ 春期または夏期 25倍 枝葉処理	一	(・ 薬害試験の継続.)
4. SYJ-171液 ハ ⁺ ラコートシ ⁺ クロリト ⁺ 100g/L [シンジェンタ ジャパン]	カンキツ	適用性 新規	和歌山果試 山口大島柑試 宮崎総農試<夏> (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 対) プ ⁺ リ ⁺ グ ⁺ ロックスL液 800mL<100>	継	継) ・ 効果の確認. ・ 薬害試験の継続.
	カンキツ	適用性 新規	和歌山果試 山口大島柑試 宮崎総農試<夏> (3)	[多年生雑草, スギナ] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 対) プ ⁺ リ ⁺ グ ⁺ ロックスL液 1500mL<100>		
	カンキツ	薬害 新規	広島果樹柑橘研 徳島果樹研 (2)	[薬害試験] ・ 春期→初夏→夏～初秋 2000mL→2000mL→2000mL<100> 土壌処理 ・ 春期または夏期 10000mL<100> 土壌処理 ・ 春期または夏期 50倍 枝葉処理		
5. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シンジェンタ ジャパン]	カンキツ	適用性 新規	静岡柑試伊豆 大阪食とみどり 山口萩柑試 (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200, 250, 500mL<10> ・ 茎葉処理 対) タ ⁺ グ ⁺ グ ⁺ ウン液 250mL<10>	実 継	従来通り(散布水量10Lへの拡大、 ・ 低薬量(200mL)への拡大は継続) 実) [カンキツ: 雑草全般] ・ 春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 一年生雑草対象; 250～500mL/10a、 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a、 スギナ対象; (春期) 1500～2000mL/10a <25～50L/10a(専用ノズル使用)>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 散布水量10L、低薬量(200mL)での効果の確認. ・ スギナに対する翌年の発生防止効果の年次変動確認.
	カンキツ	適用性 新規	静岡柑試伊豆 山口萩柑試<夏> (2)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500, 750, 1000mL<10> ・ 茎葉処理 対) タ ⁺ グ ⁺ グ ⁺ ウン液 500mL<10>		
	カンキツ	適用性 継続	大阪食とみどり 山口大島柑試 山口萩柑試 熊本農研果樹 (4)	[スギナ] ・ スギナ生育期(草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50>, 2000mL<50> ・ 茎葉処理 対) ラ ⁺ ン ⁺ ド ⁺ ア ⁺ グ ⁺ ハイ ⁺ ロ ⁺ ド ⁺ 液 2000mL<50>		
	カンキツ	適用性 継続 (H16)	大阪食とみどり 山口大島柑試 熊本農研果樹 (3)	[スギナ(翌年の発生防止)] ・ スギナ生育期(草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50>, 2000mL<50> ・ 茎葉処理 対) ラ ⁺ ン ⁺ ド ⁺ ア ⁺ グ ⁺ ハイ ⁺ ロ ⁺ ド ⁺ 液 2000mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草: ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	内 容
6. AK-01液 グリホサートイソP ロピルアミン 塩 41% [TAC普及会]	カンキツ	適用性 新規	鹿児島大学 神奈川農技根府川 山口萩柑試 (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250, 500mL<25> ・ 茎葉処理 対) サンワ-ロ液 250mL<100>	実 ・ 継	実) [カンキツ: 雑草全般] ・ 春～夏期、 雑草生育期 (草丈 30cm 以下). ・ 一年生雑草対象; 250～500mL/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <25～50L/10a (専用ノズル使 用)、50～100L/10a>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 多年生雑草に対する草種と効果 の確認.
	カンキツ	適用性 新規	鹿児島大学 神奈川農技根府川 山口萩柑試 (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500, 1000mL<25> ・ 茎葉処理 対) サンワ-ロ液 250mL<100>		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	内 容
1. AKD-8147水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 22% [アグロネショウ]	ウンシュウミ カン	作用性 継続	〈果樹研カンキツ(口之 津)〉 (1)	[夏秋梢発芽抑制] ・ 夏秋梢萌芽期 ・ 1000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布	実	実) [ウンシュウミカン: 夏秋梢発 芽抑制] ・ 新梢萌芽前 2～3 回散布. ・ 1000～2000 倍. ・ 散布.
	ウンシュウミ カン	適用性 継続	愛知農総試 愛媛果試 高知農技果試 佐賀果試 大分果樹研 〈宮崎総農試〉 (6)	[夏秋梢発芽抑制] ・ 夏秋梢萌芽期及び再萌芽時 3回散布 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
	ウンシュウミ カン	作用性 新規 (H16)	〈果樹研カンキツ(口之 津)〉 (1)	[夏秋梢伸長抑制 (果実品質へ の影響)] ・ 夏秋梢発芽時及び再発芽時 3回散布 ・ 1000～2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
	ウンシュウミ カン	適用性 新規 (H16)	愛媛果試 高知農技果試 大分果樹研 (3)	[夏秋梢伸長抑制 (果実品質へ の影響)] ・ 夏秋梢発芽時及び再発芽時 3回散布 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
	ウンシュウミ カン	作用性 継続	果樹研カンキツ(興津) 鹿児島大学 (2)	[全摘果] ・ ①満開当日②満開5日後 ③満開10日後④満開15日後 ⑤満開20日後 ・ 1000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布		
	ウンシュウミ カン	適用性 継続	大阪食とみどり 香川農試府中 愛媛果試 福岡農総試 佐賀果試 熊本農研果樹 (6)	[全摘果] ・ 一次生理落果発生期 (満開10～ 20日後) ・ 500, 1000, 1500倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳, フィガロン乳+エスレ10		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	内 容
AKD-8147水溶 [委託者]	ウンシュウミ カン	適用性 継続	静岡県試 和歌山果試 広島果樹常緑研 (3)	[間引摘果] ・ 満開20～40日後の二次生理落 果発生初期 ・ 1000, 1500倍 (展着剤無加用) 1500倍 (展着剤加用) ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳	実 ・ 継	実) [ウンシュウミカン: 間引摘果] ・ 二次生理落果発生期. ・ 1000～1500 倍. ・ 立木全面散布又は枝別散布. 継) ・ 効果の確認.
	ウンシュウミ カン	作用性 新規 (H16)	果樹研かきツ (興津) 鹿児島大学 (2)	[間引摘果 (果実品質への影響)] ・ 満開20～40日後の生理落果発 生期から3時期程度 ・ 1000, 1500倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
	ウンシュウミ カン	適用性 新規 (H16)	静岡県試 和歌山果試 広島果樹常緑研 愛媛果試 長崎果試 (5)	[間引摘果 (果実品質への影響)] ・ 満開20～40日後の生理落果発 生期 ・ 1000, 1500倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 対) フィガロン乳		
2. PDJ+ジ'ベ'リン 液 +水溶 プロト'ロ'ジャ'モン 5% ジ'ベ'リン 3.1% [日本セ'オン, 明治製 菓]	ウンシュウミ カン	適用性 継続	<静岡県試伊豆> <山口大島柑試> <愛媛果試> <徳島果樹研> <熊本農研果樹> (5)	[浮皮軽減] ・ 収穫予定3ヶ月前 ・ PDJ+ジ'ベ'リン: 50ppm+5ppm, 50ppm+3.3ppm, 25ppm+5ppm, 25ppm+3.3ppm ・ 果実を中心に全面散布	—	
3. ジ'ベ'リン水溶 ジ'ベ'リン 3.1% [日本ジ'ベ'リン研究 会]	ウンシュウミ カン	適用性 新規	静岡県試 広島果樹常緑研 福岡農総試 長崎果試 (4)	[落果防止] ・ ①満開7～10日後 ②満開3～5日後 ③開花始め ・ 25, 50ppm ・ 果実散布	実 ・ 継	(処理時期拡大は継続) 実) [ウンシュウミカン: 落果防止] ・ 満開 7～10 日後. ・ 25～50ppm. ・ 散布. 継) ・ 処理時期と効果の検討.
4. RIC-1液 海藻糖ジ'ネート [ロイヤルン'ストアーズ]	ウンシュウミ カン	適用性 継続	<和歌山果試> <広島果樹常緑研> <山口大島柑試> <熊本農研天草> (4)	[隔年結果軽減] ・ 2～3月: 1L: 土壌処理 →5月: 3000倍: 葉面散布 →12月: 1000倍: 葉面散布 (3回処理) ・ 3月: 1000倍: 葉面散布 →5月: 3000倍: 葉面散布 →12月: 1000倍: 葉面散布 (3回処理)	—	
5. AF-1くん蒸成型 1-メチルシクロ'ロ'ヘン 3.3% [ア'ロ'フレッシュ' (ロム'ア ンド'ハース'ジャパン)]	ハ'ナ	適用性 新規	<東京農業大学> <日本大学> <神戸大学> <鹿児島大学> (4)	[日持ち性向上] ・ エ'レンによる追熟処理後 ・ 300ppb ・ 密閉容器内で12～16時間暴露	—	
6. HOK-813乳 MCPAチオ'エ'ル 20% [北興化学工業]	ハ'ツカ	適用性 継続	<和歌山果試> <広島果樹柑橘研> <徳島果樹県北> (3)	[冬期落果防止] ・ 11～1月 ・ 2000倍→2000倍, 3000倍→3000倍 <300～400> (2回処理) ・ 立木全面散布 対) マ'デ'ック乳 3000倍	—	

C. 平成16年度 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] 処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法等	判 定	内 容
1. RIC-1液 海藻糖ジネート [ロイヤル インダストリーズ]	ウシユミ かん	適用性 継続	和歌山果試 広島果樹常緑研 山口大島柑試 愛媛果試 長崎果試 熊本農研天草 (6)	[隔年結果軽減] ・2~3月:1L:土壌処理 →5月:3000倍:葉面散布 →12月:1000倍:葉面散布 (3回処理) ・3月:1000倍:葉面散布 →5月:3000倍:葉面散布 →12月:1000倍:葉面散布 (3回処理)	継	継) ・効果の確認。
	不知火	適用性 継続	愛媛果試南予 宮崎総農試亜熱帯 (2)	[樹勢、品質、収量への影響] ・2~3月:1L:土壌処理 →5, 6, 7, 8月中旬:各3000倍:葉 面散布(5回処理) ・2月:1000倍:葉面散布 →3, 4, 5, 6, 7, 8月中旬: 各3000倍:葉面散布 (7回処理)	実	従来通り 実) [不知火:樹勢強化] ・2~3月:1L/10a; 灌水処理(1回 処理)→5~8月に1ヶ月毎; 3000 倍; 葉面散布(4回処理). ・2月:1000倍→3~8月に1ヶ月 毎; 3000倍; 葉面散布(7回処理). 注) 3~4年間運用して施用する。
2. PDJ 液+ジ'ベ'レリン 水溶 プロト'ロ'ジャステン 5% ジ'ベ'レリン 3.1% [日本ゼ'オン, 明治製 薬]	ウシユミ かん	適用性 新規	静岡柑試伊豆 愛媛果試 徳島果樹研 熊本農研果樹 (4)	[浮皮軽減] ・収穫予定3ヶ月前 ・PDJ+ジ'ベ'レリン: 50ppm+5ppm, 25ppm+5ppm ・果実を中心に全面散布	継	継) ・効果の確認。
3. HOK-813乳 MCPAチオエチル 20% [北興化学工業]	ハッサク	適用性 新規	和歌山果試 広島果樹柑橘研 徳島果樹県北 (3)	[冬期落果防止] ・11~1月 ・2000倍→2000倍, 3000倍→3000倍 <300~400> (2回処理) ・立木全面散布 対) マデ' ック乳 3000倍	継	継) ・効果の確認。
	清見	適用性 (自主)	和歌山果試 (1)	[冬期落果防止(翌年への影響)] ・11~12月 ・3000倍→3000倍, 4000倍→4000倍 <300~400> (2回処理) ・立木全面散布	実	従来通り 実) [清見:冬期落果防止] ・11月~12月 2回散布. ・3000倍<300~400L/10a>. ・立木全面散布. 注) 近接散布を避ける。
4. JFR-010水溶 ジ'ベ'レリン 5% [JFR-010協議会]	不知火	適用性 継続	愛媛果試南予 熊本農研果樹 宮崎総農試 (3)	[花芽抑制による樹勢維持] ・収穫直後~収穫約1ヶ月後 ・25, 50ppm ・立木全面散布または枝別散布	実	実) [不知火:花芽抑制による樹勢 維持] ・収穫直後~収穫約1ヶ月後. ・25~50ppm. ・立木全面散布または枝別散布.
	はるみ	適用性 継続	愛知農総試 愛媛果試 (2)	[花芽抑制による樹勢維持] ・収穫直後~収穫約1ヶ月後 ・25, 50ppm ・立木全面散布または枝別散布	実	実) [はるみ:花芽抑制による樹勢 維持] ・収穫直後~収穫約1ヶ月後. ・25~50ppm. ・立木全面散布または枝別散布.
	ぼんかん	適用性 新規	静岡柑試 香川農試府中 (2)	[花芽抑制による樹勢維持] ・収穫直後~収穫約1ヶ月後 ・25, 50ppm ・立木全面散布または枝別散布	実 継	実) [ぼんかん:花芽抑制による樹 ・勢維持] ・収穫直後~収穫約1ヶ月後. ・25~50ppm. ・立木全面散布または枝別散布. 継) ・効果の確認。

C. 平成16年度 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・維 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] 処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法等	判 定	内 容
5. AKD-8083EW MCPB 20% [アグロネーション]	ハレンシア オレンジ	適用性 (自主)	和歌山果試 (2)	[後期落果防止] ・着色期から収穫20日前まで (11月下旬→1月中旬) ・2000倍→2000倍(2回処理) ・立木全面散布	実	[カンキツ；後期落果防止] ・着色期から収穫20日前まで 1～2回散布. ・2000～3000倍<300～400L/10a>. ・立木全面散布.
	ハレンシア オレンジ	薬害 (自主)	和歌山果試 (2)	[後期落果防止] ・着色期から収穫20日前まで (11月下旬→1月中旬) ・2000倍→2000倍(2回処理) ・立木全面散布		
	マコト	適用性 (自主)	沖縄名護 (1)	[後期落果防止] ・着色期から収穫20日前まで ・3000倍(1回処理). ・3000倍→3000倍(2回処理) ・立木全面散布		
	カンキ	適用性 (自主)	愛媛果試 (2)	[へた落ち防止] ・収穫開始予定日の20日前 ・3000倍, 4000倍<400> ・立木全面散布	実	[カンキツ；へた枯れ、へた落ち防止] ・収穫開始予定日の20～10日前 1回散布. ・2000～3000倍<300～400L/10a>. ・立木全面散布.
	南風	適用性 (自主)	宮崎総農試 (1)	[へた落ち防止] ・収穫開始予定日の20日前 ・3000倍, 4000倍<400> ・立木全面散布		
6. ジベレリン水溶 ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研究会]	カボス	適用性 (自主)	大分果樹津久見 (H14, 15) (2)	[果皮の緑色維持] ・①収穫予定約30日前 ②収穫予定約10日前 ・10, 50ppm ・立木全面散布	継	継) ・効果の確認.
			大分果樹津久見 (H16 (2)) (2)	[果皮の緑色維持] ・収穫予定約7日前 ・10, 25, 50, (100) ppm ・立木全面散布		

